

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『誠実』という理念を掲げ、法令遵守の徹底を図っている。理念については年1回以上、内部研修にて実践できているか確認した後に、見直しは必要か話し合い、職員全員で共有を行っている			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『地域と繋がるろうプロジェクト』として利用者が作成したろう字箱を地域店舗に配布・補充し交流を継続。職業体験『ちびなが』では子供達に高齢者の不自由さやアロママッサージを体験してもらい、地域の一員として認知症理解の共有に努めている。又、施設の畑で地域の方々と共に農作業も行っている	毎月ボランティアを受け入れており、地域との交流が図られている。『地域と繋がるろうプロジェクト』の様に、施設側から外へ発信し、地域貢献が行われている。今年度は『ちびなが商店街』への参加など、新たな取り組みも行われている		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1度、参加メンバーを招き、活動状況を詳細に報告し、サービス内容についての質問や意見を頂き運営に活かしている。また、参加できなかった方には会議録を郵送し報告を行っている	利用者が様々な活動に参加できており、その内容も活動記録を通してしっかりと報告されている。外部の方を招き、現状を伝えつつ情報共有を行っている		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者とは、様々な相談で出向いたり、電話やメールで情報交換を行い、協力関係を築けるように努めている	市の担当者とは協力関係が築けている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『身体拘束廃止に関する指針』をもとに定期的に委員会を開催し、年に2回以上、内部研修を行い職員に対して周知徹底を行っている。家族に対して施錠対応していない事を説明し、利用者が戸外に出た際は見守り対応するなど、拘束のない支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『身体拘束廃止に関する指針』が整備されており、定期的に委員会も開催されている。年に2回以上は内部研修が行われており、職員に対して周知も促されている。施錠ができない事を家族に説明し、理解を得られている	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に委員会を開催し、『虐待防止に関する指針』を作成し、見直しを行っている。『虐待の芽チェックリスト』に全職員が記入する事で、グレーゾーンを含む対応を洗い出し、集計と総評を実施。抽出された課題については研修を通じて改善を図っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『虐待防止に関する指針』が整備されており、定期的な委員会の開催と、職員全員に対する虐待防止に関する研修の実施により防止に努めている。又、チェックリスト形式のアンケートの実施により、職員一人ひとりの振り返りと課題抽出のきっかけとなっている。	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度に関する外部研修に参加し、その内容を内部研修として伝達する事で職員全員が学ぶ機会を設けた。成年後見制度に関するパンフレットをいつでも確認できる場所に常備している			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結前に利用者や家族等の思いをお聞きし、疑問点等にもお答えし、当初にケアプランに反映させ、契約の際には重度化に伴う方針を説明し、解約時にご家族に納得頂けるよう、早い段階で今後の方針や受け入れ先についての説明を行い理解を頂いている			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者との日頃の会話から要望や意見を職員が汲み取り、施設独自の『要望承り書』を作成し、反映できるよう努めている。家族とは支援の相談を行いながら思いや要望を伺い、対応を運営推進会議の報告書に記載している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	独自の『要望承り書』を用いて家族の意向はもちろん、利用者の要望や意見が汲み取られており、支援や運営に反映されている
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設長や管理者は、月に1度職員会議を開催し、職員から意見や提案を聞く機会を設け、年に2回の職員面談において、ひとり一人の意見や要望を聞き取り、業務改善等に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員会議での話し合いや年2回の個人面談にて個々の振り返りと自己評価を基に、キャリアや働き方に合わせた能力評価を行い、努力や実績を給与へ反映しモチベーションに繋げている。勤務状況に関しても、職員の希望を都度反映している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員の能力評価を行い、モチベーションのアップに繋がるよう、職場環境の整備を行っている。男性の育児休業を含めた休暇や休業が取りやすい職場環境が整えられている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	独自のキャリアパス基準を設け、その階層別に能力評価をしながら階層に合わせた外部研修への参加や資格の取得などを促している。毎月、職員が順番に内部研修の講師となる事で、独自に学ぶ機会を作り、自己研鑽に繋げている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	独自のキャリアパス基準により、能力に応じた外部研修の参加など、個々のスキルアップに取り組んでいる。内部研修の講師を全職員が持ち回りで担当し、独自に学ぶ機会も設けている
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者や職員は、施設長が理事を務める『山口県老老所・グループホーム協会』主催の会議や研修、青年部の集いに参加する事で、情報交換を行いながら他事業所の職員とも交流しながら支援に役立てている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者各々の得意分野の把握に努め、役割を持ち生きがいと感じられるよう働きかけている。畑作業や子育てについて利用者から職員が教わる場面もあり、共に生活する者として一方通行とならない関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	行き付けの美容院の利用や馴染みの場所、自宅周辺等への外出支援を積極的に行っている。現在は家族や親戚、友人等と感染対策を行った上で面会や外出も可能であり、希望に応じて電話や年賀状等の手紙のやり取りなどの支援も継続している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外出の記録や様子などがしっかりと報告されており、感染対策を行ったうえでの面会や電話など繋がりを保つ支援も行われている
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の会話や様子等を介護記録に記載し思いや希望の把握に努めている。要望があった際は些細な事でも『要望承り書』を作成し、職員全員が情報の共有を行っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

17	チームで作る介護計画とヒアリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護計画更新前のヒアリングにて、計画作成者と担当職員が主となり職員全員でヒアリングを行い、現状を確認しながら、本人の要望や家族の意向、医療機関の指示も含め、今後の方針について話し合い、出てきた意見を介護計画へ反映させている	利用者がいきいきと生活できるように本人にあった計画が作成されている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現状に即した介護計画が作成されており、家族の要望や利用者の希望、職員が汲み取った情報なども反映され個別の計画が作成されている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	7月より介護記録の書式を変更し、記録方法の見直しを行った。日々の生活の中で、利用者の趣向や向き不向き、職員の工夫等の情報を都度記載し、職員全員が情報を共有を行っている。また、その情報を基にヒアリングを行い介護計画の見直しにも活用している		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が利用者の情報を収集し、収集した情報は職員全員が共有し、介護計画の見直しにつなげている
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	訪問鍼灸師と連携し、施設での機能訓練の見直しなどを行っている。移動販売の利用や、洋服や消耗品などの個人的な買い物に出掛けたり、美容院の利用なども行っている。併設されたデイサービスと合同で活動を行い、交流を図っている	訪問整体は複数人が利用できており、その他の個別の対応もしっかりと行われている		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月地域ボランティアとの交流を図り、移動図書館や訪問散髪等、地域資源を活用している。JA仙崎婦人部の方や地域の方々や畑作業や施設敷地内の清掃活動を行っている。また、放課後デイサービスの“くるみ”や“きらり”の子供たちと交流を図っている	ボランティアの受け入れや地域住民、JA仙崎婦人部などを招き、畑作業やBBQ、清掃活動など共に活動を行えている。地域の子供達との交流も図れている		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人や家族が希望した馴染みの病院をかかりつけ医とし、継続して利用できるよう支援・連携を行っている。新たに医療機関にかかる際は必ず家族へ相談を行い、了承を得て受診を開始している			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院前は病院へ施設で得た情報をまとめ提供し、入院中も連携室を通じ情報交換を行っている。退院時は事前に情報を受け、円滑に施設での生活へ戻れるよう準備を行っている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入退院に関して必要な情報交換が行われており、医療機関との連携がとれている
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時に施設での支援の限界と重度化した場合の対応について説明し、重度化が考えられる場合を見極めつつ、早い段階から家族と話し合いを行い、理解と協力を得られるよう取り組んでいる		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入所時や状態の変化が見られたタイミングにおいて、家族の理解を得られるように説明を行い取り組んでいる
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に急変時の対応について研修を行い知識定着に努めている。上級救命講習受講者が5名、普通救命講習受講者が11名居り、継続して消防署より『救命ステーション』の認定を受けている。各講習の再講習や上級の追加受講も計画している。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	昼・夜間想定避難訓練及び、車両を使用した避難場所への防災避難訓練を実施している。訓練は感染症対策の為、職員と利用者のみで行ったが、消防団や地域ボランティアの協力体制も整えている。グループホーム協会主催の災害時広域協働連携研修に管理者が参加した	現在は職員と利用者のみで実践している。地域の消防団やボランティア団体等との協力体制は維持されている為、今後の感染症の状況次第で共に訓練を実施される予定があり、災害時の連携に関する研修への参加もあった	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	避難訓練は定期的に行われており、地域ボランティアや消防団との協力体制も維持されている。今後は地域等を含めた訓練ができるよう期待したい
----	------	---	---	---	---	---	--

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に接遇に関する研修を行い、反省や話し合い、見直しを行いながら、職員は利用者の誇りやプライバシーを損ねる事のないよう、施設長や管理者が注意するだけでなく、職員間でも互いに言葉かけや対応を注意し合っている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年間を通して接遇面の強化や改善に力を入れており、職員の対応に現れている。今後も継続した取り組みを期待したい
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は可能な限り、希望の起床時間や食事時間などの生活リズムを尊重し、レクリエーションや行事への参加も無理強いはせず、自己決定できるように配慮している			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事を楽しめる様、お弁当を持参し出かけたり、一人ひとりの好みを把握し献立を工夫し、食べられない物は代替品を提供するなど配慮している。また、テーブル拭きや配膳、野菜の皮むきや盛り付けなどの食事の準備や下膳や食器洗いなどの片付けを利用者と共に行っている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事に連なる一連の作業を利用者と共に行い、利用者一人ひとりの好みを把握し、献立や食事をする場所、食事形態を工夫する事で、利用者が楽しみながら食事ができるよう取り組んでいる
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事形態を摂りやすい形状で提供し、一人ひとりの食べられる量を把握しながら提供している。食事摂取量が少ない場合、別途食べやすい物を提供し、細目に水分摂取を勧める事で食事量や水分摂取量の確保に務めている			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後、職員が言葉かけを工夫しながら口腔ケアを勧め、義歯の有無や口腔状態に合わせた歯ブラシやスポンジブラシを使用し、必要に応じて介助を行うなど清潔を保てるよう支援している。又、毎晩義歯の消毒を行っている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の口腔状態に合わせた口腔ケアが実施されている
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	『排泄チェック表』を作り、一人ひとりの排泄間隔を把握し、タイミングを見計らい言葉かけている。乳製品やオリゴ糖の使用、水分摂取など食事面の取り組みに加え、適度な運動を促し便秘予防に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の排泄パターンを把握し、個々に合わせた支援が実施されている
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	午前中の10～12時までを入浴時間として実施しているが、入浴時間の変更やシャワー浴や清拭など、体調や希望などの状況に合わせた支援を行っている。無理強いをしないよう心掛けており、入浴剤の使用など入浴が楽しめるよう支援している			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日中は昼夜逆転に気を配りながら、自由に休めるよう配慮している。夜間も居室の消灯時間は無く、読書やテレビ鑑賞などそれぞれの生活習慣を否定せず、ある程度は好きな時間に休めるよう支援している			
34	服薬支援	一人ひとりが見ている薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は最新のお薬情報を用いて薬の目的や用法・容量について常に確認し、把握するよう努めている。服薬マニュアルを都度見直し、薬の準備や配薬前のダブルチェックの徹底を行っている。薬の変更があった際は経過や変化を主治医へ報告・相談を行っている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬マニュアルにより、適切な服薬管理を行いながら、服薬が無ないように努めており、マニュアルの見直しや配薬の工夫も行われている
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	掃除や食事の準備、洗濯等の家事や畑仕事など、一人ひとりの力を活かせる場面を作り、役割や楽しみが持てるよう支援している。施設の庭を利用した食事やおやつ提供、希望に応じてノンアルコール飲料の提供等を行っている	一人ひとりが役割や楽しみを持てるような支援や、生活歴を把握し、それぞれの趣向に合わせた支援も行われている		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	積極的に外出支援を行い、季節の花々や景色を楽しみ、自宅周辺や馴染みの場所、その他リフトに配慮しながら行先も工夫している。感染症対策を行いながら、家族との外出や外泊支援、買い物や馴染みの美容院の利用等も行っている	積極的な外出支援が行われており、様々な場所へ出掛けられている。又、外出だけではなく、外泊も実施されている。感染状況により不可となる事もあるが、外泊の回数に規定は無く、年に数回外泊されている方もいる		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	規程に沿い、契約時に預り金の取り扱いについて説明し、家族の合意を得て管理している。本人の金銭所持は難しいが、移動販売や受診時など、希望に応じて預り金より物品を購入している			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望に応じ電話や手紙のやり取りができるようにし、電話は居室でゆっくりと話せるよう配慮をしている。また、個人所有の携帯電話を自由に使用して頂いている			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能がわかる力を活かし安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れ一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設内に季節の花々を飾り、大きく開けた窓から見える景色からも季節の移り変わりを感じる事ができる。リビングにはソファを配し、横になって休む事ができる畳の空間もあり、思い思いに過ごせる空間作りを行っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節の花々が飾られていたり、家具の配置を工夫し、利用者が居心地よく生活できるように配慮されている	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の思いや願いは可能な限り介護計画へ取り入れ、意向に沿った暮らしができるように支援し、職員が無理強い事がないよう、自己決定する機会を必ず設けている			

41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前に収集した生活歴や習慣などの情報をもとに支援し、日々の生活の中で得た新しい気づきや情報を介護計画へ反映させていく事で、本人に寄り添った支援を行っている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの持病や認知症状について理解し、職員間で日々の状況の変化など情報共有を行い、必要に応じてかかりつけ医や薬局と連携しつつ、安心して生活を送れるように支援している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの状態を職員間で共有し、把握できており、一人ひとりにあった適切な支援が行われている
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設としての1日の流れはある程度決まっているが、本人の希望によって起床時間や食事時間の変更、また活動への参加の是非や、共有スペースや自室などのどこでどう過ごすかを自己決定できるよう配慮している			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅から馴染みの家具や持ち物を居室に置き使用されている。また、家族の写真や飾り、位牌を置くなど、思い思いの大切な物を置き、生活を送られている。食器類も使用されていた物を持参し使用される方もいる		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が大切にしていた物や写真などを持ち込む事ができ、馴染みの家具も使用する事が出来ている
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人で自由に戸外へ出る事は難しいが、職員が付き添いや見守りを行い戸外へ出る事はできる。また、外出は可能な限り希望に沿う事ができるようにしており、美容院の利用や買い物外出の支援も行っている	美容院の利用や個別の買い物外出の支援が行われており、ドライブ先なども利用者の意見や希望が反映されている		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる事は自ら行えるように、また実行困難な事やわからない事には介助を行いながら、一人ひとりの状態に合った家事やレクリエーションへの参加を勧め、役割や楽しみを持って生活できるよう支援している			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングのテーブル席は気の合う方と会話できるよう配慮した席順にし、共有ソファでは寛いで話す事ができる。また職員は、利用者が興味を持つ話の内容で回想法などを用いながら会話を引き出せるよう取り組んでいる		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の性格や興味などに配慮した環境作りと支援が行われている
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書道や音楽教室などの地域ボランティアやJA婦人部等の地域の方々、放課後デイサービスの子供たちとの交流を図っている。感染症対策を行いながら面会などの交流する機会も設けている	利用者自身が『地域とつながろうプロジェクト』や様々な活動を通して地域に Outreach、又、地域ボランティアや放課後デイサービスの子供たちとの交流も図られている		
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	親しい人との関係性が保たれ、気の合う利用者同士で会話もあり、職員と共に生活を送る事で安心して生活でき、役割を持ちながら暮らせる事で入所前より表情も良くなり体調も安定していると思われる	いつ来ても利用者の表情が良く、様々な活動を工夫している。また、職員が利用者や目線を合わせて優しく接しており、接遇面も徹底されており、利用者は安心して生活がおくることができていると思われる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者目線に立った支援を職員全員が心がけており、気持ちに寄り添う支援が行われている。また、新しい取り組みも行われており、地域交流も積極的に図られている